

2025年度 教育課程編成・実施の方針に照らした教育の取組の適切性に関する検証

マイステップ・リエゾンポートフォリオ「学びの姿勢ふり返り(学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針)」のデータを活用した検証です。各学科／研究科専攻の教育課程編成・実施の方針については、本学ホームページの「教育方針」(下記のURL)をご覧ください。

<https://www.tfu.ac.jp/aboutus/policy/index.html>

学科・研究科専攻名 福祉心理学科

調査項目は以下の11項目である。

- ① 基本的スキルの育成:リエゾンゼミⅠを通して、レポートの作成やプレゼンテーションの仕方、ICTの使い方(図表作成を含む)を学んでいる。
- ② 人間関係づくり、心身の健康:リエゾンゼミⅠを通して、心理学を踏まえた人間関係づくりや心身の健康の向上に取り組んでいる。
- ③ 総合基礎教育:総合基礎教育を通して、総合的な見方、心理学の基礎、隣接分野の基礎、社会における課題を幅広く集中的に学んでいる。
- ④ 知識と技能の学習:心理学概論、福祉心理学、心理学実験、心理学研究法、心理検査法実習等の科目を通じて、心理学の代表的な知識と基本的な技能を学んでいる。
- ⑤ 実践の理解:心理実践活動論や心理学実践研究実習等を通じて、実践について理解を深めている。
- ⑥ 履修コース:自分の学びたいことに合った履修コースを選んで、それぞれのコースの内容を深く学んでいる。
- ⑦ 隣接領域:心理学だけではなく、福祉、教育、保健医療、産業・労働、司法・法務等についても幅広く学んでいる。
- ⑧ 心理学に限定されない資格:心理学に直接関係するものではないが他学科や学内での学びで得ることができる国家資格または認定資格、検定、免許を得られるように学んでいる。
- ⑨ 心理学関係の資格:心理学関係の国家資格または認定資格・検定を得られるように学んでいる。
- ⑩ 知識・技能と職業能力の結びつけ:心理学の知識と技能を職業能力につなげるために、実学臨床教育、地域共創実学教育、ボランティア活動、インターンシップ、各種学外実習、課外活動等の社会活動経験に取り組んでいる。
- ⑪ 心理学の学びを活かした仕事:リエゾンゼミⅠ～Ⅳや心理実践に関する科目を通じて心理学と社会とのつながりや職業倫理について考え、授業内外の学科のガイダンスやセミナーを通じて心理学の学びを活かした仕事について学んでいる。

各項目について1(全くそう思わない)～6(非常にそう思う)の選択肢とした。1年生から4年生まで、各学年末の回答の平均値が以下の図である。なお、回答者数は1年生66名、2年生26名、3年生47名、4年生11名、学科全体で150名であった。各設問について学年別平均値を比較すると、1～3年生では概ね同程度の水準で推移し、4年生においてやや高い値を示す傾向がみられた。また、学科全体平均はいずれの項目においても高水準であり、本学科の教育課程を通して学生の基礎的能力や態度が着実に育成されていることが示唆される。これらの結果は、学年進行に伴う学習経験の蓄積が学生の成長として反映されている可能性を示し、CPに基づいた取組が適切であったことを示唆する。



